

研究情報公開

受付番号	23-16
研究課題名	心疾患を有する大腿骨近位部骨折後の患者における低骨格筋量が機能的転帰に及ぼす影響
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	リハビリテーション療法士 理学療法士 藤本悠太
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的]</p> <p>心疾患を有した大腿骨近位部骨折後の患者を対象に BIA で評価した四肢の骨格筋量と ADL との関連を調査することを目的としています。</p> <p>[研究の方法]</p> <p>●対象となる方</p> <p>2019年1月から2022年12月に回復期リハビリテーション病棟に入院した心疾患を有する大腿骨近位部骨折後の患者</p> <p>●利用するカルテ情報</p> <p>性別、年齢、身長、体重、BMI、既往歴、CCI、大腿骨近位部骨折の骨折型、手術の種類（骨接合術：人工骨頭置換術）、心疾患の分類、入院日、退院日、発症から当院入院までの日数、発症日、手術日、入退院時 SMI、入退院時 MNA - SF、エネルギー摂取量、その他、研究を行うにあたり必要なデータの収集を行う。</p> <p>●カルテ情報の利用方法</p> <p>上記のカルテ情報は、心疾患を有した大腿骨近位部骨折後の患者を対象に BIA で評価した四肢の骨格筋量と ADL との関連を調査する材料とします。</p> <p>[個人情報の取り扱い]</p> <p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究期間	承認日～2028年12月